

令和2年5月更新

新型コロナウイルス感染症対策としての
音楽科の活動内容制限に関する対応や扱いにつきまして（小学校）

教育出版株式会社 音楽編集部

新型コロナウイルス感染症対策として、自治体や学校のご判断により、音楽の授業が行われる際に、以下の内容を避ける旨の指針が示され、そって指導計画を作成する場合があります。

- ★歌唱や合唱、発声を伴う音楽づくりの活動
- ★鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの吹奏楽器の演奏活動

そのため、弊社発行の小学校音楽科教科書「小学音楽 音楽のおくりもの」をご使用いただいている学校におかれましては、音楽の授業時数など各学校の実態に合わせて、平時の年間指導計画例以外の対応も含め、ご検討くださいますようお願いいたします。

また、当面どのような対応が考えられるかを、7月までの題材・教材を用いて簡単に例示しますのでご活用ください(別表)。

<ご指導の際の留意点>

- ・ 弊社の小学校の教科書では、題材やコーナーごとに教材や活動を設定しておりますので、上記の活動以外の学習活動も組み込まれており、題材等の目標にそって扱うことで、年間指導計画を大きく変更することなく対応が可能です。
- ・ 随時教材や毎時教材は、時期を変えて扱うことが可能です。
- ・ 可能な範囲でのマスクの着用や、声の大きさ、児童同士の間隔への配慮、打楽器のばちや鍵盤楽器の鍵盤など共有する用具の衛生管理等に十分にご留意ください。その際、アルコール等消毒液を直接吹き付けたりすると楽器等を傷める場合がありますので、ご配慮ください。
- ・ 体を動かす活動にあたっては、着席して上半身だけで表現することが考えられます。児童同士の間隔に配慮した位置で着席することや、活動の際大きく息が上がらないようなご配慮をお願いいたします。

令和2年度小学校で扱う題材・コーナーにおける
「歌唱教材、鍵盤ハーモニカやリコーダーを扱う教材」に関する対応例（4月～7月）

※グレーのami部分は、後の時期に扱う。

学年	題材(コーナー)	教材名	対応例
1年	(導入)	p.2 どんな うたがあるかな	着席して表現CDの音源を聴きながら、合わせて上半身で身振りをする。
		p.4◎ゴーアンドストップ はくに あわせて	着席して鑑賞CDの音源を聴きながら、合わせて上半身を動かす活動や、教師の打つ拍に合わせて表現する活動を行う。
		p.6 かもつれっしゃ	着席して表現CDの音源を聴きながら、拍に合わせて一人ずつ動く。 また、後の時期に常時活動として扱う。
		p.8◎サンダーバード ほか	着席して鑑賞CDの音源を聴きながら、拍に合わせて上半身を動かす活動を行う。
		p.10 ひらいた ひらいた (共)	着席して表現CDの音源を聴きながら、一人ずつ手で花の形や動きを表現する。 共通教材なので、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。
		p.12◎わらべうた うたでおはなし	鑑賞CDの音源を聴き、先生の動きを見ながらエア手合わせなど身振りをして遊ぶ。 声の大きさや児童との間隔に配慮して行う。
		p.14 かたつむり (共)	着席して表現CDの音源を聴きながら、曲に合わせて身振りで表現する。 共通教材なので、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。
	リズムと なかよし	p.16 ぶん ぶん ぶん	表現CDの音源を聴きながら、拍に合わせてリズム打ちしたり先生とエア手合わせをしたりする。
		p.18 しろくまのジェンカ ◎ジェンカ	着席して表現CDや鑑賞CDの音源を聴きながら、拍に合わせてリズム打ちを繰り返す。
		p.20 たんと うんでリズムをつくらう	そのまま扱うことが可能。 児童同士の間隔に留意して行う。

		p.22 わくわく キッチン	表現 CD の音源を聴きながら、「とんとんとん」等の言葉に合わせてリズム打ちする。速度を変化させた音源でも同様に行う。
	(おとの スケッチ)	p.24 ことばのリズムであそぼう	小さい声で言葉を確認し、リズム打ちしたりリズムをつくったりする。楽器を用いる際は衛生管理に留意する。
	(にっぽんのうた みんなのうた)	p.26 うみ (共)	表現 CD の音源を聴きながら、旋律のリズムを手で打ったり、3拍子に合わせて体をゆらしたりする。 共通教材なので、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。
2 年	(随時教材)	p.2 朝のリズム	後の時期に愛唱歌として扱う。
	(スキルアップ)	p.4 手びょうしりレーであそぼう	そのまま扱うことが可能。児童と児童の間隔に留意する。
	強さや はやさを かんじて	p.6 「天国と地ごく」からほか	着席して鑑賞 CD の音源を聴きながら、曲に合わせて上半身を動かす活動を行う。気付きはワークシートを用いるほか、交流するときは声の大きさや、児童同士の間隔に留意して行う。
		p.8 小さな はたけ	着席して鑑賞 CD の音源を聴きながら、体の動きで表現する。
		p.10 山びごっこ	旋律のリズムを手で打ち、リズムの山びごっこをする。強弱の変化をつけたリズム打ちでまねし合う。 歌唱教材としては、後の時期に愛唱歌としたり、題材に適宜挿入したりしてもよい。
		p.12 かくれんぼ (共)	表現 CD の音源を聴きながら旋律のリズムを手で打つ。交互唱の部分は分担して打つ。共通教材なので、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。
		よびかけっこであそぼう	声の大きさや児童同士の間隔に配慮して行う。
	リズムや ドレミと なかよし	p.14 こいぬの ビンゴ	表現 CD の音源を聴きながら、旋律のリズムを手で打つ。
◎どうぶつの歌		鑑賞 CD の音源を聴きながら、リズムを打	

			ったり体を動かしたりする。
		p.15 どうぶつラップで遊ぼう	後の時期に、授業の導入での扱いも含め適宜挿入して扱う。
		p.16 びよんびよこロックンロール	表現 CD の音源を聴きながら、鳴き声のリズムを手で打ち、音符とリズムの関係を確認する。
		p.18 ことばのリズムであそぼう	言葉を小さな声で、または心の中で唱えながらリズムを打つ。拍によってリズムを聴き合いながら活動する。
		p.20 楽きでドレミとなかよくなろう	鍵盤ハーモニカは、後の時期に毎時扱いも含め適宜挿入して扱う。
		p.22 かえるのがっしょう	表現 CD を聴きながら、小さな声で、または心の中でドレミで歌い、音高に合わせて手を動かす。 鍵盤ハーモニカは、後の時期に毎時扱いも含め適宜挿入して扱う。夏季休暇中の家庭学習としても考えられる。
	(音のスケッチ)	p.24 音のかさなりやリズムをえらんで合わせよう	後の題材に適宜挿入して扱う。
3年	(随時教材)	p.2 小さな世界	後の時期に愛唱歌として扱う。
	(スキルアップ)	p.4 アラムサムサム	輪唱教材は、後の時期に毎時の導入等として扱う。
		p.5 リズムなかまですれもよう!	着席してリズム打ちをしたり、リズムを重ねたりする。
	(にっぽんのうた みんなのうた)	p.6 春の小川(共)	旋律のリズムを手で打ったり、表現 CD の音源を聴きながら楽譜の音符を指でなぞったりする。 共通教材なので、後の題材または年度末に適宜挿入して扱ってもよい。
	楽ふとドレミ	p.8 キラキラおひさま 楽ふのお話	一つ一つの音をドレミで確認する。 表現 CD の範奏音源を、心の中でドレミで歌いながら聴く。 音符と音の長さ、五線とドレミ、ほかの記号等の意味や名前を確認する。

			「春の小川」の表現 CD の音源を、心の中でドレミで歌いながら聴いてもよい。
		p.10 ドレミの歌	ドレミの音の高さを感じ取り、手で表しながら表現 CD の範唱音源を聴く。
(にっぽんのうた みんなのうた)		p.12 茶つみ (共)	旋律のリズムを手で打ったり、表現 CD の音源を聴きながら先生とエア手合わせをしたりする。 共通教材なので、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。
(こんにちはリコーダー)		p.16~23	リコーダーは、後の時期に毎時扱いも含め適宜挿入して扱う。
歌声ひびかせて		p.24 この山光る ◎ホルディリディア	旋律のリズムを手で打ったり、表現 CD の音源を聴きながら楽譜の音符を指でなぞり、気付いたことをワークシート等に行ったりする。 鑑賞 CD の音源を聴き、気付いたことをワークシート等を書く。 気付きの交流は、声の大きさや児童同士の間隔に留意して行う。
(音のスケッチ)		p.26 いろいろな声で表げんして遊ぼう	声による表現は、後の時期に適宜挿入して扱う。
		p.32 題材「せんりつの流れとへん化」や、p.60「物語の音楽を楽しもう」などの鑑賞教材を、先行して扱うことも考えられる。	
4 年	(随時教材)	p.4 TODAY	後の時期に愛唱歌として扱う。
	(スキルアップ)	p.6 早口	輪唱教材は、後の時期に毎時の導入等として扱う。
		p.7 早口言葉でラップを楽しもう！	後の時期に、授業の導入での扱いも含め適宜挿入して扱う。
	(にっぽんのうた みんなのうた)	p.8 さくら さくら(共)	旋律に使われている音と音階とを見比べて確かめたり、表現 CD の音源を聴きながら楽譜の音符を指でなぞったりする。 共通教材なので、後の題材または年度末に適宜挿入して扱ってもよい。

		p.11 ◎さくら変 そう曲	そのまま扱うことが可能。 気付きの交流は普通の話し声で、間隔に留意しながら行う。 箏を交代で実際に演奏する場合は、衛生管理に留意する。
歌声ひびかせて		p.12 プパポ	表現 CD の音源に合わせて旋律のリズムを手で打ち、特徴に気付くとともに、リズムアンサンブルとして扱う。 歌唱教材としては、後の時期に愛唱歌としての扱いも含め適宜挿入して扱ってもよい。
		p.14◎「サウンド オブ ミュージック」から	そのまま扱うことが可能。 鑑賞 CD の音源を聴き、気付いたことをワークシート等を書く。 気付きの交流は、声の大きさや児童同士の間隔に留意して行う。 この機会に、市販の DVD 等を用いて映画を鑑賞することも考えられる。
ひょうしとせんりつ		p.16 エーデルワ イス	表現 CD の音源を聴きながら、3 拍子の流れに合わせて体を動かしたり、楽譜の音符を指でなぞり、旋律の反復や変化に気付いたりする。 歌唱教材、器楽教材として、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。
		p.18◎トルコ行 進曲 メリーさんの羊	そのまま扱うことが可能。鑑賞 CD の音源に合わせて 2 拍子の指揮の動きをする 気付きの交流は、声の大きさや児童同士の間隔に留意して行う。指揮棒を用いる際は、衛生管理に留意する。 指揮の動きのみ、そのまま扱うことが可能。
		p.20 ラバース コンチェルト ◎メヌエット	表現 CD や鑑賞 CD の音源に合わせて指揮の動きをしながら 2 曲を比較する。 気付きの交流は、声の大きさや児童同士の間隔に留意して行う。 指揮棒を用いる際は、衛生管理に留意する。

	(音のスケッチ)	p.22 音の動き方を 生かしてせんりつを つくろう	リコーダーによる活動は、後の時期に適宜 挿入して扱う。
	(にっぽんのうた みんなの うた)	p.24 まきばの朝 (共)	旋律のリズムを手で打ったり、表現 CD の 音源を聴きながら楽譜の音符を指でなぞっ たりする。 共通教材なので、後の題材に適宜挿入して 扱ってもよい。
	p.32 題材「かけ合いと重なり」や、p.58「いろいろな歌声を楽しもう」などの鑑賞教材を、 先行して扱うことも考えられる。		
5 年	(随時教材)	p.4 夢色シンフォ ニー	後の時期に愛唱歌として扱う。
	(スキルアップ)	p.6 花のおくりも の	輪唱教材は、後の時期に毎時の導入等とし て扱う。
		p.7 クラップ フ レンズ	そのまま扱うことが可能。児童と児童の距 離に留意する。
	(にっぽんのうた みんなの うた)	p.8 こいのぼり (共)	旋律のリズムを手で打ったり、表現 CD の 音源を聴きながら楽譜の音符を指でなぞっ たりする。 共通教材なので、後の題材に適宜挿入して 扱ってもよい。
	和音や低音のはたら き	p.12 茶色の小び ん	ピアノなど、吹奏しない鍵盤楽器を用い、 先生や児童（一人）が旋律だけを弾いたり、 旋律と低音を合わせて弾いたりするのを全 員で聴き、気付きを交流する。p.14 掲載の 和音と、旋律や低音を合わせて弾いて比べ てもよい。 鍵盤楽器を複数名で使用したり交代で演奏 したりする際は、衛生管理に留意する。 また、表現 CD の音源を聴き、低音の動き に合わせて、着席したまま体を動かすこと も考えられる。 器楽教材としては、後の題材に適宜挿入し て扱ってもよい。

		p.14 和音のはたらしを感じ取ろう	「茶色の小びん」の部分は鍵盤楽器を用いて、p.10と同様に扱うことが可能。 左右ページ共に、主要三和音の響きをよく聴いて親しむことを大切にする。
		p.16 こきょうの人々	ピアノなど、吹奏しない鍵盤楽器を用い、和音の進み方を確認する。 先生や児童（一人）が旋律と和音や、旋律と低音を合わせて弾くのを全員で聴き、気付きを交流する。 鍵盤楽器を複数名で使用したり交代で演奏したりする際は、衛生管理に留意する。
	声のひびき合い	p.18◎いろいろな合唱	そのまま扱うことが可能。鑑賞CDの音源を聴き、気付いたことをワークシート等を書く。 気付きの交流は、声の大きさや児童同士の間隔に留意して行う。
		p.20 ハロー・シャイニング ブルー	歌唱教材として、後の題材に適宜挿入して扱う。 事前学習として、表現CDの音源を聴きながら楽譜の音符を指でなぞり、フレーズの反復や旋律の変化など曲の特徴に気付いたり、パートに分かれてリズム打ちし、パート同士の関わり方に気付いたりする扱いが考えられる。
	(めざせ楽器名人)	p.24 星笛	リコーダーによる活動は、後の時期に適宜挿入して扱う。 また、夏季休暇中の家庭学習としても考えられる。 事前学習として、表現CDの音源を聴きながら、8分の6拍子の指揮の動きをしたり、楽譜の音符を指でなぞり、フレーズの反復や旋律の変化など曲の特徴に気付いたり、パートに分かれてリズム打ちし、パート同士の関わり方に気付いたりする扱いが考えられる。

	(音のスケッチ)	p.26 和音に合わせてせんりつをつくろう	リコーダーで行う場合は、後の時期に適宜挿入して扱うが、木琴や鉄琴など含め吹奏しない鍵盤楽器を組み合わせて扱うことも考えられる。 鍵盤楽器を複数名で演奏したりマレットを交代で使用したりする際は、衛生管理に留意する。 また、児童同士の間隔に留意し、密集しないようにする。
	p.30 題材「オーケストラのみりよく」や、p.58「変そう曲を楽しもう」などの鑑賞教材を、先行して扱うことも考えられる。		
6年	(随時教材)	p.4 つばさをください	後の時期に愛唱歌として扱う。
	(スキルアップ)	p.6 バナハ	輪唱教材は、後の時期に毎時の導入等として扱う。
		p.7 言葉をもとにリズムで遊ぼう！	隊形や体の向き、児童同士の距離、声の大きさに留意し、手拍子や楽器を用いて表現する。 楽器の衛生管理に留意する。
	(にっぽんのうた みんなのうた)	p.8 おぼろ月夜(共)	旋律のリズムを手で打ったり、表現 CD の音源を聴きながら楽譜の音符を指でなぞったりする。 共通教材なので、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。
	短調のひびき	p.12 マルセリーノの歌 ◎ハンガリー舞曲第5番	ハ長調とイ短調の主要三和音を先生が演奏して響きの違いを捉えてから、表現 CD の範奏音源を聴き、アとイの違いを感じ取る。 鑑賞 CD の音源を、短調の部分と長調の部分を見つけながら聴く。 「マルセリーノの歌」は後の題材に適宜挿入し、器楽教材・歌唱教材として扱ってもよい。

演奏のみりよく	p.14◎交響曲第5番「運命」第1楽章から	そのまま扱うことが可能。 鑑賞CDの数種類の演奏音源を聴き、気付いたことをワークシート等を書く。 気付きの交流は、声の大きさや児童同士の間隔に留意して行う。
	p.16 ぼくらの日々	愛唱歌として、後の題材に適宜挿入して扱う。 事前学習として、表現CDの音源を聴きながら楽譜の音符を指でなぞり、フレーズの反復や旋律の変化など曲の特徴に気付いたり、パートに分かれてリズム打ちし、パート同士の関わり方に気付いたりする扱いが考えられる。
(めざせ楽器名人)	p.18 The Sound of Music	リコーダーによる活動は、後の時期に適宜挿入して扱う。 また、旋律の夏季休暇中の家庭学習としても考えられる。 事前学習として、表現CDの音源を聴きながら楽譜の音符を指でなぞり、フレーズの反復や旋律の変化など曲の特徴に気付いたり、パートに分かれてリズム打ちし、パート同士の関わり方に気付いたりする扱いが考えられる。
(音のスケッチ)	p.19 動機をもとに音楽をつくろう	鍵盤打楽器や吹奏しない鍵盤楽器を使用して扱うことが考えられる。 鍵盤楽器を複数名で演奏したりマレットを交代で使用したりする際は、衛生管理に留意する。
(にっぽんのうた みんなのうた)	p.20 われは海の子(共)	旋律のリズムを手で打ったり、表現CDの音源を聴きながら楽譜の音符を指でなぞったりする。 共通教材なので、後の題材に適宜挿入して扱ってもよい。
p.28 題材「ききどころを見つけて」や、p.48「ジャズとクラシック音楽の出会い」などの鑑賞教材を、先行して扱うことも考えられる。		